

千葉県立博物館の事業に係る意見交換会 自己評価票

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値 \geq 100%	4	A
ほぼ達成	目標値 \geq 80%	3	B
やや不十分	目標値 \geq 50%	2	C
不十分	目標値 $<$ 50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値 \geq 75%	4
ほぼ達成	達成値 \geq 65%	3
やや不十分	達成値 \geq 50%	2
不十分	達成値 $<$ 50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	30年度実績	2803点	4	A	年度内新規登録資料登録点数 年度内新規登録資料のうちデジタル画像・映像を作成した資料数(標本の半数とした) 資料収集に出かけた回数(当該年度分の聞き取り調査結果による)
					館設定の目標	600点			
			2	資料の情報化・公開実績	30年度実績	1402点	4		
					館設定30年度の目標	300点			
			3	資料収集の回数	30年度実績	169回	4		
					館設定30年度の目標	80回			
		調査研究	4	館外貸出(外部機関等展示等)	30年度実績	3件	4	A	登録標本貸出件数+年報用「4利用」 外部から海博へ調査目的でやってきた研究者の数 年報用の「4利用」で報告した数値のうち、著作物の件数(施工先の数)
					要望のあった件数	3件			
			5	館内利用(学術調査等)	30年度実績	21件	4		
					要望のあった件数	21件			
			6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	30年度実績	11件	4		
					要望のあった件数	11件			
7	調査事業件数	件数	30年度実績	14件	4	A	総合研究+専門研究 年報用の「③他機関との共同研究」 年報用の「⑥学術論文・学術書」+「⑦学術報告書」		
			館の計画	11件					
			30年度実績	1件				4	
8	共同調査事業件数	件数	館設定30年度の目標	1件					
			30年度実績	13件	4				
9	研究成果の公開状況	論文研究報告	館の計画	8件					
			大項目 I の総合評価(A~D)					A	
博物館コメント	小項目1は受動的な受入だけでなく、館の資料収集活動で採集したものも含んでいる。博物館資料は、有効活用の件数を想定して収集・保管されるものではないため、小項目4-6については、目標を要望のあった件数とし、申し出があった案件にすべて対応した。すべての項目で目標を達することができた。								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値				
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	30年度実績	51,188人	3	B	目標は23年度数値を参考にした数値
						館設定30年度の目標	52,000人			
			2	企画展(マリンサイエンスギャラリー) 水辺の外来生物	入館者数	30年度実績	7,431人	3		目標は21-28年度数値を参考にした数値
						館設定30年度の目標	8,000人			
			3	企画展(収蔵資料展) 貝づくし	入館者数	30年度実績	16,339人	3		H29収蔵資料展期間中入場者統計ファイル(テラ¥展示¥収蔵資料展)目標は21-29年度数値を参考にした数値
						館設定30年度の目標	20,000人			
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	30年度実績	72回	4	A	理想郷WB(18), 磯WB(12), こんなの見たよ(11)(¥みたよ¥履歴), ユニット季節(4), ユニット他(1), トピック¥履歴(¥トピック¥履歴)
						館設定30年度の目標	50回			
			5	企画展 (マリンサイエンスギャラリー、収蔵資料展)	実施回数	30年度実績	2回	4		該当なし
						館設定30年度の目標	2回			
			6			30年度実績				
						館設定30年度の目標				
総合的な満足度	7	博物館	アンケート満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	30年度実績	92%	4	A			
				30年度実績	98%					
				30年度実績	88%					
大項目IIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	博物館、企画展示についてのお客様の満足度は例年同様、高い評価を受けている。しかし、入場者数については漸減しており、企画展示入場者数も目標達成には至らなかった。ただし、マリンサイエンスギャラリーの入場者数は会期が前に伸びたこともあり、昨年度実績を2556人上回っている。									
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	30年度実績	91%	3	A	
						前年度実績	100%			
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	30年度実績	3件	4		
						館設定30年度の目標	2件			
大項目IIIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	入場料収入は昨年をやや下回り、外部資金の獲得件数は科研費を3件(研究分担1件を含む)獲得するなど目標値を上回った。これらの間接経費の有効活用については本館との調整を含め検討が必要である。									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	30年度実績	77回	4	
						館設定30年度の目標	30回		
			2	HPでの利用状況	アクセス数	30年度実績	49,112件	4	
						館設定30年度の目標	42,000件		
			3	報道機関への情報発信	取材件数	30年度実績	113件	4	
						館設定30年度の目標	100件		
大項目IVの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	HPに関しては、アクセス数は昨年度を大幅に上回り、ようやく目標値に達することができた。取材件数は昨年から引き続き目標を上回った。引き続き珍しい生きものの資料を入手したときなどに、積極的な広報を行い、取材件数の維持・増加に努めたい。								

分類	大項目	中項目	小 項 目				達成状況	総合評価	備考
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値			
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	30年度実績	39校	4	A
					学校数	要望があった数	39校		
			2	入館者数	入館者数	30年度実績	1942人	4	
					入館者数	要望があった数	1942人		
			3	生徒・児童	入館者数	入館者数	30年度実績	1942人	
		入館者数				要望があった数	1942人		
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	学校数	30年度実績	3校	4	
					学校数	要望があった数	3校		
		5	利用者数	利用者数	利用者数	30年度実績	148人	4	
					利用者数	要望があった数	148人		
地域関係団体との連携	6	団体数	団体数	30年度実績	31団体	4			
			団体数	要望があった数	31団体				
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	利用回数	30年度実績	31回	4		
				利用回数	要望があった数	31回			
	8	利用者数	利用者数	利用者数	30年度実績	2129人	4		
				利用者数	要望があった数	2129人			
9									
10	ボランティア活動	活動延人数	活動延人数	30年度実績	53人	2			
			活動延人数	前年度実績	87人				
大項目Vの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	他団体との連携は、野外実習授業(磯観察等を伴った学校への対応)、団体フィールドトリップ(磯観察等を伴った社会教育施設等各種団体への対応)、展示解説(バックヤードを含めた施設内見学対応)、地域連携(市町村等地域団体が主催する行事等への協力)として要望のあったものすべてを受け入れた。ボランティア活動は、年々減少傾向にあるので、協力を依頼する機会を増やすなど、活動を促す取り組みの検討も必要と思われる。								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考			
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値						
VI	教育・普及活動	来館状況	1	観察会	参加者数	30年度実績	109人	2	B			
						募集員数	145人					
			2	講座	参加者数	30年度実績	39人	1				
						募集員数	85人					
			3	フィールドトリップ	参加者数	30年度実績	231人	4				
						募集員数	180人					
		4	バックヤードツアー	参加者数	30年度実績	134人	4					
					募集員数	120人						
		5	みんなで工作 海の生きもの	参加者数	30年度実績	112人	4					
					募集員数	90人						
		6	海の体験コーナー	参加者数	30年度実績	264人	4					
					募集員数	252人						
		総合的な満足度	7	観察会	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	30年度実績	100%	4		A		
						8	講座	30年度実績			95%	4
						9	フィールドトリップ	30年度実績			99%	4
						10	バックヤードツアー	30年度実績			95%	4
						11	みんなで工作 海の生きもの	30年度実績			98%	4
利用状況	17	相談件数 (来館、メール、電話等)	利用件数	30年度実績	613件	4	A					
				要望数	613件							
大項目VIの総合評価(A~D)							A					
博物館コメント	30年度は、前年度目標に達しなかったフィールドトリップ、バックヤードツアー、海の体験コーナーの参加者数がそれぞれ目標を達成した。講座は達成状況が前年度より30%上昇したものの、依然目標を達成できていない。参加者の満足度は例年同様高く、好評である。今後、参加者の満足度を維持するため行事の質を落とさないようにしつつ、参加者数を一定以上確保できるように、さらに魅力的な内容の検討や、参加者が集まりやすい実施日、実施時刻等の検討、また広報の充実を図る必要がある。											

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考			
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値						
Ⅶ	人材育成と安全管理	実習研修	1				/	A				
			2	教員等の研修	30年度実績 館設定30年度の目標	30人 30人			4			
			3	職場体験	30年度実績 館設定30年度の目標	15人 15人	4					
			4									
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	30年度実績 館の計画	1回 1回		4	A	防火設備研修	
			6	防災訓練実施等	実施回数	30年度実績 館の計画	3回 2回		4		防災訓練、情報伝達訓練	
		大項目Ⅶの総合評価(A~D)							A			
		博物館コメント	実習の要望にはすべて対応したため、達成度を100%とした。安全管理も計画通りに実行することができた。									
		Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	30年度実績		42団体	3	B	
							前年度実績		50団体			
2	30年度実績				3058人		3					
	前年度実績				3551人							
3	外国人来館入込			30年度実績	1団体	4						
				前年度実績	0団体							
4				30年度実績	150人	3						
				前年度実績	178人							
大項目Ⅷの総合評価(A~D)							B					
博物館コメント	県外来館団体入込は、学校関係は予約でほぼ前年並み、学校外では予約なしの飛び込みが多い。目黒区、小金井市等は毎年多くの小学校が来館する。初めて来館する学校等が来年以降も来館してくれるよう丁寧な対応をして常連の団体を増加させる必要がある。なお、県外団体入込人数は昨年度実績を割り込んだが、H28実績(2907人)は超えている。外国人団体は初めてのケース。											
総合評価(A~D) [各達成度の平均]							A					
総合評価と次年度への対策	博物館活動の基盤となる資料の収集・整理・保管・活用や調査研究は総じて目標値をクリアしており、前年度に引き続き高い水準を維持している。一般の方がまず目にする展示活動では、入館者の満足度は高い水準を維持する一方、入館者数は前年度より若干減少している。教育普及活動では海の生きものを対象とした多彩な活動が展開されており、学校や各種団体からの要望を受けて出前授業や実習、フィールド観察などを行っている。一般向けには、講座や観察会などを実施しており、参加者の満足度は高い水準を維持している。頭打ちの傾向が見られていたこれらの参加者数には回復の兆しが現れている。以上のように、分館海の博物館では資料収集、調査研究、展示、教育普及のそれぞれの活動をバランスよく精力的に行っているが、利用者数、特に入場者数が伸び悩んでいる。しかし、一般に博物館施設において展示リニューアルを行わない場合、5年で入場者数が3割減少するとされており、それを念頭に置くと当館の入場者数の減少は踏みとどまっていると考えられる。リニューアルの未実施以外に考えられる入場者数減少の原因としては、南房総地域への観光客の減少、少子化による学校の統廃合、レジャーの多様化など様々な要因が関連していると考えられる。広報戦略やマーケティングなど見直すことも一つの手段と考えられる。											